

# じゅう じん 住民の

# 声

皆さまの感想を  
聞いてみました!

傍聴者数のべ53人



## 家族共々議会を身近 に考えるきっかけに

杉水 小田 洋子さん

私は今回を含めて二度、議会を傍聴する機会にめぐまれました。

議会がどのように運営されているのか、また私たちの暮らしにどのように関わってくれているのか、軽い気持ちで行きました。

やはり一度目より二度目という具合に、町政に対する議員さん方の取り組む姿勢や質問事項、行政の町長さんを始め各部長さん方の町民に対する答弁内容と温かさがひしひしと伝わってきました。

特に議員さん方からの質問事項については、子供から高齢者の方々の暮らしについて細やかに、私たち素人でも理解することができました。

また、それぞれの議員さん方の一生懸命さ、自分たちの住んでる大津町をもっと活性化するために、各分野の質問事項にうなづくことが多かった議会でした。

実生活での物の見方も広がりました。

私一人でなく、家族共々議会を身近に考えていきたいと感じました。



## 長期戦で 若者に期待したい

矢護川 藤原 隆さん

初めて大津町議会を傍聴しました。

今回の傍聴のきっかけは、間近になった国道57号とJR豊肥線の開通です。

私は約20年前に市内から大津町へ引っ越してきました。

空港が近く、山あり平地あり緑あり、川ありで大津町の魅力に惹かれました。

その大津町がこの開通を前に何も変わっていない。もったいない、何かできないだろうかという気持ちです。

JR豊肥本線、スポーツの森新駅設置及び周辺地域の開発の話もありましたが、壁は高そうです。すぐの解決策は見つからないでしょう。

ならば長期戦で若者に期待したいところです。まずは若者がただ集まる場所“遊び場”を作られてはいかがでしょうか。

もちろん一定のルールは必要ですが、制限するためではなく、どうすればより良いのかを考える。

そして若い頭で違う流れを起こしてくれたら。文化、スポーツ、若者が集う町、そして素通りできない町にしていきたいと思います。